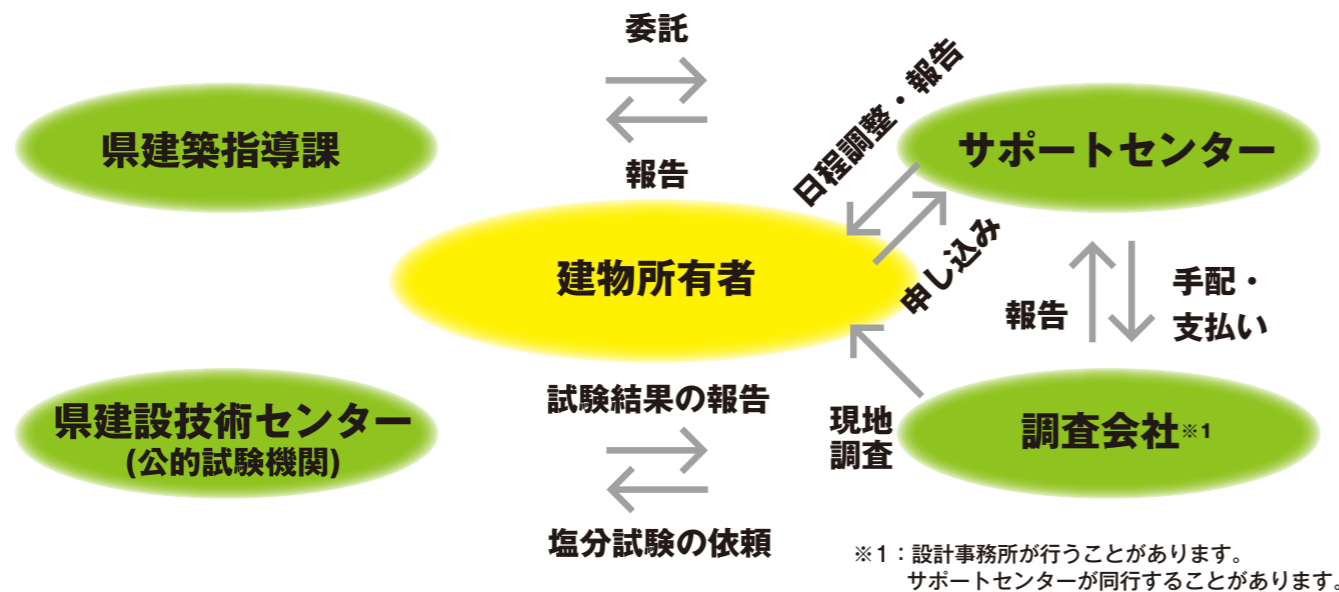


調査を依頼するときは

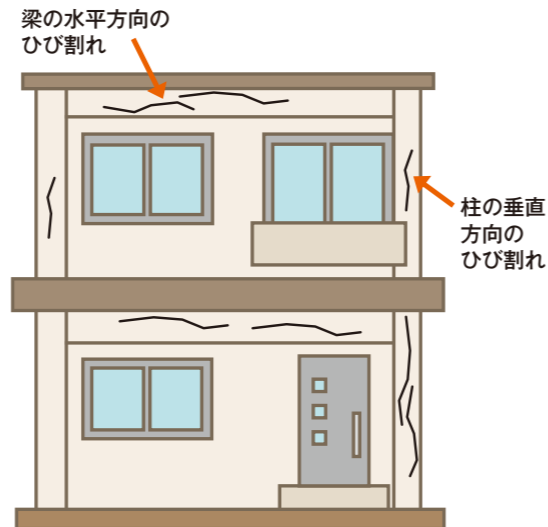
サポートセンターに申し込んでください。

調査員がうかがいますので、現地調査の場所を指定してください。



塩分の結果をどう使うの？

- ・劣化調査でひび割れを重点的にチェックしてください。
- ・材軸方向のひび割れ（※2）に特に注意してください。
- ・劣化調査の頻度を増やしてください。（毎年一度など）
- ・今後の補修費用が掛かることを考慮した維持費用の準備を。
- ・県主催の塩分講習会を受けた塩分分析調査技術者（建築士）に相談してください。名簿をサポートセンターのホームページで公開しています。



※2：こんなひび割れは注意

お問い合わせ

沖縄県土木建築部建築指導課

那覇市泉崎1-2-2

TEL 098-866-2413 FAX 098-866-3557
<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/shido/>

NPO沖縄県建築設計サポートセンター

浦添市安波茶 1-32-13 大平インタービル

TEL 098-879-1020 FAX 098-879-1026
<http://www.okiken.asia/> info@okiken.asia



コンクリート塩分調査から建物保全まで

建物の塩分調査をしませんか？



こんな建物にお住まいではありませんか？

ボク、サビがだ〜い好き



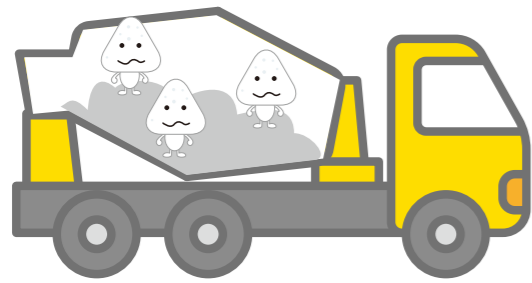
県内の建物に塩分は大敵です
 ご自宅のコンクリート塩分量はだいじょうぶ？

県の事業を利用すると
3,000円（税抜）で
 塩分分析調査ができます！

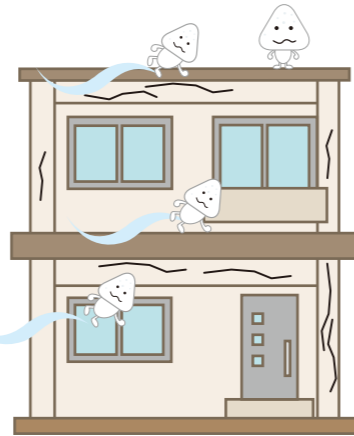


なぜコンクリートに塩分があるのでしょうか

2つの理由ですが、塩分が多いと建物は長持ちしません

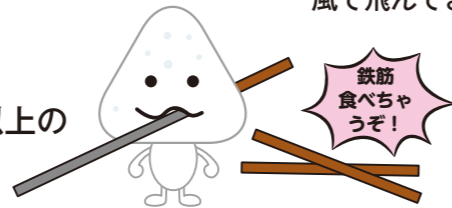


古い建物の、材料の砂に含まれていた塩分



風で飛んできた海の塩分

1m³のコンクリートの中に1.2kg以上の塩分があると、鉄筋は錆び続けます。



今は除塩された海砂が使われています

県内はコンクリートの砂は海砂と砕砂の混合砂が主流です

- ・細骨材の割合は一般的に海砂 60%、砕砂 40%です。
- ・昭和62年に塩分規制により規制値が定められています。(JASS5 建築工事標準仕様書・同解説)
- ・昭和62年以降に出荷された生コンクリートの塩分は規制値の1/10以下程度です。(沖縄県生コンクリート工業組合調べ)

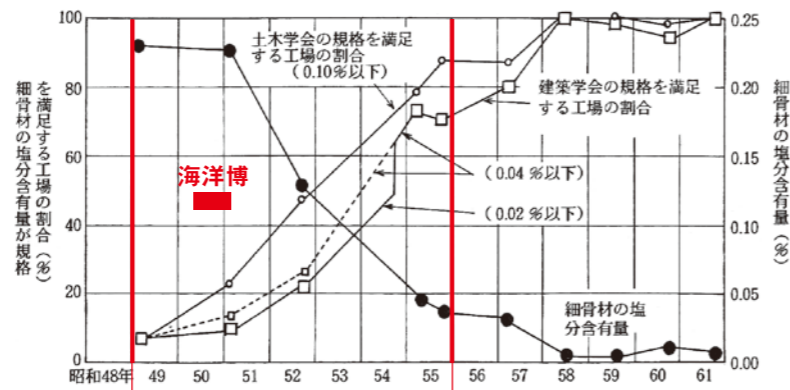
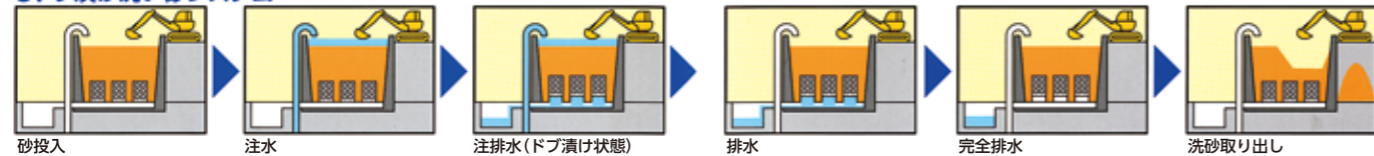


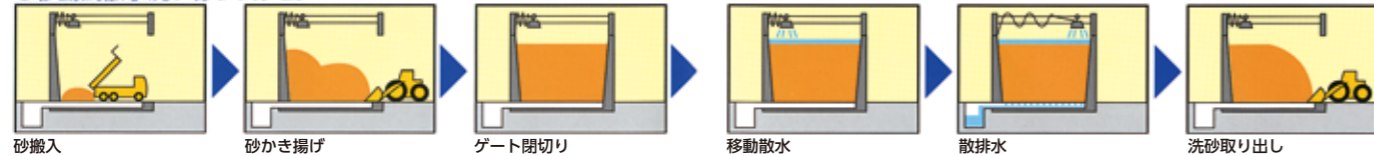
図-11 生コン用細骨材の塩分含有量と規格を満足する工場の割合 (沖縄本島)
海砂利用が普及各プラントでの洗浄
沖縄砂利採取事業協同組合が砂を管理
資料提供：(公財)沖縄県建設技術センター試験年報(第5号) 昭和61年度 図-11

沖縄砂利採取事業協同組合の除塩方法

●ドブ漬け洗い砂システム



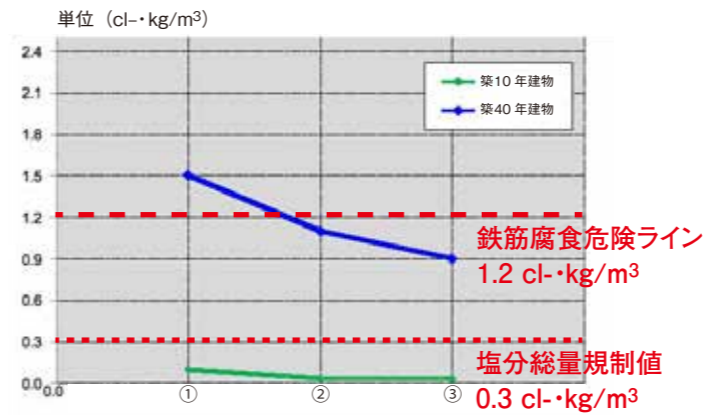
●移動式散水洗い砂システム



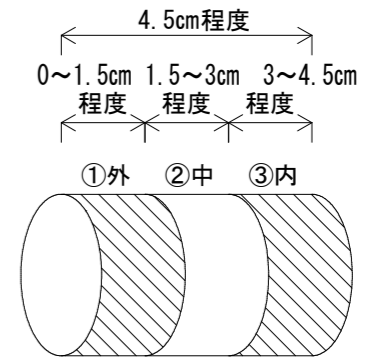
沖縄の粉じんの主役は塩分

海から飛来した塩分が建物に付着して、内部に拡散する

塩分試験測定結果グラフ



3分割塩分試験(コア採取)



外側が濃い場合は、飛来塩分の可能性が高い

建物を長持ちさせるには塩分量の調査から

- 県の事業を利用して塩分分析調査ができます。
- サポートセンターから結果の報告書が届きます。
- 県の事業が利用できる建物の条件です。

以下の全ての条件を満たすこと。

- ①昭和56年(1981年)5月31日以前に着工された住宅。(住宅は、一戸建て住宅、長屋、共同住宅(マンション等の区分所有建築物を除く)であること。)
- ②建物の構造は、鉄筋コンクリート造、補強コンクリートブロック造であること。
- ③建物の規模は、3階建て(※補強コンクリートブロック造は2階建てまで)、延べ床面積 300 m²以下。
- ④建物の所在地は、沖縄県内であること。
- ⑤塩分分析調査の申請者は、塩分分析調査を実施する住宅の所有者またはその家族(家族関係証明資料確認)であること。
- ⑥増築・改築を行っている場合は要相談。

塩分の調査結果です



- ・調査は1か所で、深度ごとに3サンプル採取。
- ・通常調査費用は100,000円程度(試験費含む)がかかりますが、県の事業を利用すると個人負担は3,000円(税抜)で行えます。
- ・調査報告書には、今後の維持保全のためのコメントが付いてきます。